

早川たかし執筆・新本 第2回公開編集会議 & 富山県の子ども Wellbeing 向上運動つくりの方向

■はじめに

先ず" "遊" からはじめよ！

新本の構想を立て始めてから、かれこれ 6 年が経ちます。「子育て支援と心理臨床」(2018 年 福村出版 連載 4) が終了した頃から、NPO 創設からの活動のまとめを上梓したいと考えはじめました。妻・恵子の難病の悪化、そして、天国への旅立ち、さらに、コロナ渦と、6 年の歳月が流れました。そして、ついに、やっと、昨年 6 月から集中的に執筆を開始し、新本の体を為した「原稿」できました。

さて、私はこの間、”助手”と呼ぶ若者たち（大学生 H 君、保育士を辞めた S 君、塾教師 D 君、）を雇用し、私の傍で仕事を手伝ってもらいました。その助手たちが、いなければ、私は大袈裟ですが、生き延びることはできませんでした。昨年 5 月から助手を務めたのが山下敦子さんでした。彼女との「対話」を経て、「原稿」ができてきました。この「対話」こそが、やがて出版されるだろう新本の真骨頂だろうと考えています。

この間、作家ではない私が一冊の本を書いて仕上げることが、こんなにしんどく苦しいことだと改めて感じました。途中で投げ出したくもなりました。しかし、彼女と「対話」が私を支えました。さらに、完成間近になって、身近な仲間たちとの「対話」で、新本出版の「意味」や「価値」を問いたくなりました。そして、2 月 21 日に 10 人の仲間と「編集会議」を行いました。中国故事・”先ず” 魄”からはじめよ！”に発想して、著名を考えています。（未定）出版元が未だ決まらず、糸余曲折の現状ですが、各界各氏からの大きな期待が高まっています。

企画内容

■期日 2024 年 3 月 31 日 (日) 10:00~16:30 受付 9:30

■会場 富山駅前 C I C ビル 5 F 星槎国際高校・とやま学習センター ゼミ室 2

■内容

1 部 新本「遊びはヒトの希望です」へのメッセージ

10:00 ~ 水関 清先生 (函館渡辺病院)

テーマ：言葉とこころの不思議

～総合診療医の日常と、啄木の『一握の砂』収載歌から考える～

10:50 ~ 神谷明宏先生 (子ども環境学会副会長)

テーマ：

11:40 ~ 渡辺久子先生 (日本乳幼児精神保健学会会長)

テーマ：

12:30 昼食 休憩

13:30 ~ 2 部 公開編集会議？ 参加者がひとり 1 人が編集者

司会：富樫 豊 (子ども環境学会)

パネラー：渡辺久子 神谷明宏 水関清 大西宏治 (富山大学教授) 各氏 &

山下敦子 (子ども遊ばせ隊) 宮下基幸 (福村出版 社長)

飯田良智 (星槎高校) 棚瀬静香

南 直樹 ()

文書発表：西野博之 仙田満氏 西田篤氏 金田利子氏 汐見稔幸氏

15:30 ~ 富山・子ども NPO センター発足？？～

司会：山下敦子

意見者：参加者全員

■参加 無料 ただし寄付・カンパははいくらでも

■主催：富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊

■資料：